

# 令和7年 第15回八雲町議会全員協議会会議録

令和7年12月4日 議員控室

## ○事 件

報告事項

- (1) 学校給食センター職員による食材持ち出し行為（窃取）について  
（学校給食センター）
- (2) 八雲総合病院職員による盗撮事案逮捕について（八雲総合病院）
- (3) 役場新庁舎等建設工事の建築主体工事再入札について（新庁舎建設推進室・建設課）

## ○出席議員（12名）

議長	大久保 建 一 君	副議長	宮 本 雅 晴 君
	赤 井 睦 美 君		三 澤 公 雄 君
	横 田 喜世志 君		黒 島 竹 満 君
	関 口 正 博 君		牧 野 仁 君
	倉 地 清 子 君		寺 田 広 樹 君
	小 西 雄 一 君		水 野 博 美 君

## ○欠席議員（2名）

安 藤 辰 行 君	斎 藤 實 君
-----------	---------

## ○出席説明員（9名）

町長	萬 谷 俊 美 君	副町長	竹 内 友 身 君
新庁舎建設推進室室長	川 崎 芳 則 君	財務課長	井 口 貴 光 君
財務課長補佐	長谷川 聡 司 君	教育長	西 田 浩 人 君
給食センター長	三 坂 亮 司 君	総務課主幹	山 本 貴 志 君
人事係長	長谷川 佳 洋 君		

## ○出席事務局職員

事務局長	野 口 義 人 君	事務局次長	藤 原 悟 史 君
庶務係長	千 代 貴 大 君		

[開会 午前 9時55分]

### ◎ 開会・議長挨拶

○議長（大久保健一君） それでは、令和7年第15回全員協議会を開会いたします。

議長の挨拶は、割愛させていただきます。それでは、令和7年第15回全員協議会を開催いたします。議長挨拶ということで、特別ないんですけれども、雪が降っておりますので、皆さん怪我には十分注意してください。何やら斎藤さんが退院したらしいので、足元には十分注意してください。以上です。

### 【学校給食センター職員入室】

### ◎ 報告事項

○議長（大久保健一君） 次、報告事項に入りたいと思います。

一番、学校給食センター職員による食材持ち出し行為についてをお願いします。

○町長（萬谷俊美君） 議長、町長。

○議長（大久保健一君） 町長。

○町長（萬谷俊美君） この後ご報告申し上げます、2件の不祥事につきましては、大変議員の皆様には、ご心配をおかけして大変申し訳ございませんでした。内容については、それぞれ所管のほうからご説明申し上げますので、よろしくお願い申し上げます。

○学校給食センター所長（三坂亮司君） 議長、学校給食センター所長。

○議長（大久保健一君） 学校給食センター所長。

○学校給食センター所長（三坂亮司君） おはようございます。それでは、給食センター職員による食材の持ち出し、摂取についてご報告させていただきます。別紙をご覧ください。

本件は、給食センター職員会計年度任用職員による食材の持ち出し、摂取事案になります。事案が発覚するまでの経過でございますが、資料2に記載のとおり、9月8日に給食センターで衛生管理のために2週間冷凍保存している保存食が屋外にあるゴミ庫に廃棄されていないことをセンター職員が把握し、その後10月に入り、学校へ提供した給食のうち、予備食として13時まで保管している牛乳及びセンターで調理した副食おかずについても保管時と廃棄時に数量が合わないことを把握したことがきっかけとなります。

10月7日からは、13時まで保管している予備食について、目視による監視から記入式に記録を変更し、最終的には資料3の(1)にあるとおり、延べ24日間にわたり、数量に相違が確認され、その間、予備食を保管している前室2という部屋に監視カメラを設置したところ、11月25日にも予備食の相違が確認され、また、監視カメラの映像を確認したところ、当該職員が予備食を持ち出す映像が認められたため、当該職員への聞き取りを行ったところ、持ち出す事実を認めたものでございます。

摂取品及び金額は、記録を取り始めた10月7日から11月25日までの判明分となっておりますが、資料記載のとおりで予備食として5,251円、保存食等の廃棄物の食材が1,872円となっております。

ます。食材の持ち出し行為を行ったのは、会計年度任用職員の学校給食センター調理員で、資料記載のとおりでございます。

給食センターでの予備食、廃棄食材の管理方法については、予備食については、学校の給食時間が終了する13時まで予備用として、前室2という部屋で保管し、その日の当番が学校から回送された食器等と一緒に戻ってくる残食とともに廃棄することとしております。

また、廃棄食材である保存食は、食中毒に備え、保健所の指導により、提供日から2週間の冷凍保存を義務付けられているもので、廃棄食材とは、納品された肉や野菜の食材から調理に適さない部分を除去したもので、いずれも調理室内のゴミ箱へ捨てた後、当番職員がゴミ箱を回収し、屋外のゴミ庫へ排出して廃棄しているものとなっております。

再発防止の取り組みについては、給食センター全職員に対して、公務員としての倫理、服務規律の順守と好奇肅正の徹底を行うこととしてございます。

このたびは、このような事案が発生し、町民の皆様様の信用を失うこととなり、誠に申し訳ありませんでした。

○議長（大久保建一君） それでは、(1)について質疑ある方は挙手をお願いします。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（大久保建一君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） これは、こういうふうな事件として扱われるだけのルールがあるんですよね。一定期間保存しておいて、役目が終わったら廃棄するっていうルールがあるから、処罰の対象になったっていうことですか。

○学校給食センター所長（三坂亮司君） 議長、学校給食センター所長。

○議長（大久保建一君） 学校給食センター所長。

○学校給食センター所長（三坂亮司君） 三澤議員のご質問にお答えします。今回の事案となったものは2点ありますが、まず1点目がその日調理したおかずで予備で取っているものについては、13時までにはこれから提供する可能性があるものというふうに考えてございます。

また、議員ご指摘のとおり、2週間保存しているものについては廃棄はせず、最終的にゴミになるんですけども、2週間の保存を義務づけられているもので、その時点でも2週間経った時点でゴミとして廃棄するものの2点になります。

それで、犯行が行われた時間がほぼお昼の時間12時半前後ということで、予備食については、まだ我々の町側の所有物ということがはっきりしてございますので事案として扱うこととしたものでございます。以上です。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（大久保建一君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） 今回は、そのルールにのっとって処分は適当だと思うんだけど、例えば13時まで保管して役目が終わると。そして、2週間保存して、食中毒等検査等もサンプルとして残していく任務も終わると、そういう役割が終わった食材についての持ち出しは、時代性を考えても食べれるものを捨てるっていうのは僕は良くないと思うんで、例えばルールの改め方なんかは、この事件を考えるきっかけにしたらどうでしょうかと思うんですよね。

町民に携わっている人たちは、子供たちに対して残食がないように工夫しているいろいろやっているそういった一連のチームだと思うんですよね。そして、作ったものが一定の役割を終えた時、

13時までだとか2週間だとかっていうサンプルが終わっても、自分たちの各の判断でまだ食べられると思ったものは、廃棄に回さなくてもいいようなそういった柔軟なルールは、これからは考えてもいいのかなど。

この処分はこれとしてですよ。これからもったいないということを考えた場合に、何でもかんでも捨てるっていうのはちょっと違うのかなっていう観点で、そういった議論をしたほうがいいのかなど発言をさせていただきました。

○議長（大久保健一君） それは質問ではないということですか。

○議員（三澤公雄君） いや、そういう提案はどうなのかなっていう向こうの受け止め方を聞きたいなと思います。

○教育長（西田浩人君） 議長、教育長。

○議長（大久保健一君） 教育長。

○教育長（西田浩人君） 確かに三澤議員おっしゃるとおり、ものを大事にするということは、とても大切だと思っております。ただ、これをあまり尊重しすぎると、ルールがどんどん緩くなっていくこともあるのかなというふうに考えております。

例えば、肉を給食センターが購入したときに、使えるもの使えないものということで、例えば血管を外していくような作業とあるそうです。そのためには削いでいくという作業が必要なんですけど、必要以上に削ぐというような声も子どもへの肉の供給が減っていくということにもつながりません。

これは、決して調理員を疑っているということではないんですけれども、一定のルールは守っていかねばならないのかなというふうに考えております。ただ、予備として抑えておく量については、今後検討して、さらに少ない量の予備にするとか、その辺は関係機関と相談しながらすすめていきたいと思っております。

○議員（三澤公雄君） わかりました。

○議長（大久保健一君） ほか。

○議員（倉地清子君） はい。

○議長（大久保健一君） 倉地議員。

○議員（倉地清子君） ビデオカメラを設置することになる前に気付いた時に、このセンター長を含めて、こういうことがちょっとあるからっていうことを言ってからやられたのか、あまりにも急に厳しめに見えるような気がしたので、伺いました。

○学校給食センター所長（三坂亮司君） 議長、学校給食センター所長。

○議長（大久保健一君） 学校給食センター所長。

○学校給食センター所長（三坂亮司君） 倉地議員のご質問の部分ですが、確かにこの事案が発覚してから、何度か全体に対して持ち帰りだとか、給食センターでは、そもそもまず持ち込んだり、持ち出すということは一切禁止してございます。その部分は、当該職員についてもそれは認識をしていたということは確認してございます。

この事案が発生して、この期間でも何度か職員の研修の機会がありましたので、そういう話をしてございましたが、それが終わらなかったということ。また、これを誰が持ち出しているかということが分からない状況でもありましたので、今回監視カメラというものを設置するようなことになりました。

ちなみに、給食センターにつきましては、異物混入だとか衛生管理上、複数の監視カメラが付いてございますが、この前室2にというところには、既設の監視カメラがないような状態がありました。そのため、ここに防犯上も管理上も必要ということで、カメラを今回設置させていただくような状態になったということで、ご理解いただきたいと思います。

○議員（倉地清子君） はい。

○議長（大久保健一君） 倉地議員。

○議員（倉地清子君） 事前にちゃんとお話をされてたっていうのは、聞かせていただきましたので、分かりました。

あと、この処分というかその方の今これからのお仕事に関しては、どのようになるんでしょうか。

○副町長（竹内友身君） 議長、副町長。

○議長（大久保健一君） 副町長。

○副町長（竹内友身君） 職員の処分に関しては、懲戒処分審査会というのがございますので、それに諮って処分をどういった程度にするかというのは決定するということになります。

○議長（大久保健一君） よろしいですか。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（大久保健一君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） この方がこういう行動をしたのは、もったいないなっていう気持ちからしたのであれば、私それはすごく本当だよなって、三澤議員のおっしゃるとおり、私も賛同するんですけども。

万が一、一般的なことでね、この人がそうだと思うないけれども万引きって病気もありますよね。そういうことであれば、だから処分するだけじゃなくて、ちゃんとした対応もしないとダメじゃないかなと思うんですけど、調査した結果それは病気ではないっていうのははっきりしてるんでしょうか。

○学校給食センター所長（三坂亮司君） 議長、学校給食センター所長。

○議長（大久保健一君） 学校給食センター所長。

○学校給食センター所長（三坂亮司君） 赤井議員からの質問の部分にありますが、はっきりとした窃盗だとか万引きだとか、よく報道であるような病気があるということは、確認されてはありませぬ。違った体調面だとか、そういったものの既往症的なものはあるというふうには、聞き取りをさせていただきます。これとの因果関係については、はっきり分からない状況です。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（大久保健一君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 窃盗とかって書かれると本当にすごいなと思っちゃうんですけど、内容を見ると、えって思うので、ぜひこの方だけじゃなくって精神的な部分をしっかりと見てあげてほしいと思います。要望です。

○議長（大久保健一君） 答弁はいいですか。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（大久保健一君） 他。

（「なし」という声あり）

○議長（大久保健一君） 私からいいですか。

よくデパートだとか、そういうところで行くとロッカールームだとか、そこから先に例えば自分の荷物を持ち入るとかなんとかの時には、クリアなバッグしか持ちやいけないよとかっていうルールがあるところがあると思うんですよ。そういうルールっていうのはあるんですか。

○学校給食センター所長（三坂亮司君） 議長、学校給食センター所長。

○議長（大久保健一君） 学校給食センター所長。

○学校給食センター所長（三坂亮司君） ただ今の議長からの質問ですが、基本的に玄関から更衣室までについては、自分のバッグ等を持っていくことは許可されておりますが、それ以降調理室等に入るときにあたっては、すべて給食センターから支給されたジャージであったり、白衣等につきましては、すべて支給品でポケット等がすべて異物混入を防ぐために閉じたような状態になったもので、作業をする決まりになってございます。

廊下までは私服で来てございますので、女性職員が多いこともありますので、透明の袋ではなくて、普通のバッグっていうんですかね。そういったもので廊下までは行っていい決まりになってございますが、教室に入る段階では、いらないものを持ち込めないように、一切のものを持ち込めない状況で給食を調理している状況になってございます。

○議長（大久保健一君） じゃあ、前室2っていうところから、自分のロッカーに何か持って出ていってもそこはオールスルーになっちゃうんですか。

○学校給食センター所長（三坂亮司君） 議長、学校給食センター所長。

○議長（大久保健一君） 学校給食センター所長。

○学校給食センター所長（三坂亮司君） そこから出ていくときには、おっしゃるとおり、オールスルーになっている状態ですが、本人と映像で確認したところ、ポケット等はないんですが、ズボンの中にしまい込むようなかたちでロッカーへ移動していたということで、誰も気づけなかったという状況となっております。

○議長（大久保健一君） わかりました。他になければ次行ってもいいですか。

（「はい」という声あり）

#### 【学校給食センター職員退室】

#### 【八雲総合病院職員入室】

○議長（大久保健一君） それでは、次2番目、八雲総合病院職員による盗撮事案逮捕についてをお願いいたします。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（大久保健一君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） それでは、総合病院職員による盗撮事案逮捕について説明いたします。

本件につきましては、新聞報道等により既にご承知の方もいらっしゃることは存じますが、令和7年11月29日札幌市内百貨店の多目的トイレにおいて、盗撮目的で侵入した疑いで緊急逮捕されたものでございます。

容疑者は、盗撮のスリルを味わいたかったと容疑を認めているという情報でございます。警察発表では、直後に容疑者とすれ違った女性がトイレに入り、小型カメラを見つけ、警備員に通報。容疑者が現場に戻ってきたため警備員が110番通報し逮捕に至っております。

(2) 当該職員でございますが、新聞報道では実名報道されておりますが、八雲総合病院庶務課庶務係会計年度任用職員で院内保育所勤務の保育士25歳男性職員でございます。

当該職員の普段の勤務状況ですが、責任感、規律、勤勉、協調性に関しては特に問題はなく、保護者、園児との係り関してもこれまで何らトラブルもない状況で、子どもたちからはとても人気のある保育士であるという報告を受けております。

(3) になりますが、現在札幌中央警察署において留置中であり、釈放時期、今後の見通しは未定となっております。

当然ではあります、本人との接触、外部との連絡は一切禁止されておりますので、私どもといたしましても新聞報道等による情報しか持ち合わせていないのが現状でありますことをご理解いただきたく存じます。

(4) 病院の対応ですが、まずはこの報道発表、情報を受け、院内保育所、病院内、特にトイレ等において盗撮機器の有無を確認し、設置されていないことを確認しています。

そして、警察からの要請もありますが、当該職員の私物等は全て厳重に保管しており、今後警察からは様々な要請が想定されます。

当然ではあります、捜査には全面協力するとともに、私どもといたしましたは捜査の行方、事実関係が明らかになるのを待つほか手段はなく、捜査の状況を見守るしかないものと考えております。また、保護者の方には、既に情報提供しておりますが、適切な時期に説明会の開催を予定しております。

本件につきましては、報道の内容が事実とすれば、性的な姿態を盗撮するという、決して許されない極めて卑劣な犯罪行為であります。

現在、捜査段階ではありますが、容疑を認めていることからしますと、業務外の出来事とは言え、当院職員が起こした犯罪行為により、町民皆様の信頼を損なう事態となったことは遺憾の極みであり、町政の信用を失墜させたことに対し深く反省し、心よりお詫び申し上げます。

この度は、大変申し訳ございませんでした。

○議長（大久保建一君） 以上の報告につきまして、質疑を受け付けます。質疑がある方、挙手をお願いいたします。

（「なし」という声あり）

○議長（大久保建一君） なければ、2番は以上となります。

**【八雲総合病院職員退室】**

**【新庁舎建設推進室職員入室】**

**【建設課職員入室】**

○議長（大久保建一君） それでは3番目、役場新庁舎等建設工事の建築主体工事再入札について報告をお願いいたします。

○新庁舎建設推進室室長（川崎芳則君） 議長、新庁舎建設推進室長。

○議長（大久保建一君） 新庁舎建設推進室長。

○新庁舎建設推進室室長（川崎芳則君） 去る11月11日の全員協議会において、新庁舎等建設に係る建築主体工事の入札不調について、報告をさせていただきましたが、その不調となった原因の検証結果について、建設課長から報告をさせていただきます。

○建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。

○議長（大久保建一君） 建設課長。

○建設課長（藤田好彦君） おはようございます。私の方から、八雲町新庁舎等建設工事の建築主体工事に係る設計価格の検証結果について、ご報告させていただきます。

まず、このたびの入札不調の要因は設計価格と業者の見積額に大きな開きがあるとのことであったため、設計単価の精査などを行うとともに道内市場の実勢価格の調査を行ったところ、本建築物の主要構造部材となる鉄骨関係の費用において設計単価と実勢価格の間に大きな開きがあることが判明し、それが工事の価格差の主な要因だということで推察しました。

そのため、鉄骨関係資材の道外からの資材調達の可能性や価格の調査を行った結果、資材の調達が可能であり、価格のほうも本工事の当初の設計単価よりは幾分高くはなるものの、道内での実勢価格よりは相当低い価格となっており、本事業の現行予算内の対応が可能な設計価格となるという結果が得られたので、ご報告いたします。設計価格の検証については以上となります。

○新庁舎建設推進室室長（川崎芳則君） 議長、新庁舎建設推進室室長。

○議長（大久保建一君） 新庁舎建設推進室室長。

○新庁舎建設推進室室長（川崎芳則君） ただいま建設課長から説明がありましたように、この検証結果を踏まえまして、令和7年度中に建築主体工事の再入札を実施しようとするものであります。

今後、新たな報告事項等が出た段階で改めて全員協議会に報告し、協議をいただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。説明につきましては、以上でございます。

○議長（大久保建一君） 以上の報告につきまして、質疑を受け付けます。

質疑のある方は挙手をお願いします。

○議員（黒島竹満君） はい。

○議長（大久保建一君） 黒島議員。

○議員（黒島竹満君） 今、鉄骨の価格が設計に近づいたという話をされたんですね。それは間違いのないの。

○建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。

○議長（大久保建一君） 建設課長。

○建設課長（藤田好彦君） 道外からの調達ということで、道外の業者から適切に見積りをいただいて検証してございます。

○議員（黒島竹満君） はい。

○議長（大久保建一君） 黒島議員。

○議員（黒島竹満君） 間違いはないんだったらいいんですけど、またあとで違うっていうことになると、また同じことの繰り返しになるので、しっかりとそのへんを精査して出していただきたいというふうに思います。

○建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。

○議長（大久保建一君） 建設課長。

○建設課長（藤田好彦君） 設計価格についてなんですけど、前回全員協議会でもお話したとおり、適切にルールにのっとって積算した価格です。それが、業者が受けられないというのは業者さんの事情もありますので、今回も適切に見積りをいただいて設計価格というのを算出しているのでその辺は受けてくれるか、受けてくれないか業者さん次第になるというふうに思っています。

○議員（黒島竹満君） はい。

○議長（大久保建一君） 黒島議員。

○議員（黒島竹満君） あまりにも差がありすぎるような気はしていましたので、個性になっているものだから、ある程度見積りもうちの会社のほうとしてもしていますので、札幌の岩田さんも見積っていますから、相当な違いはありそうだから設計価格に近づいたという話には、ちょっと疑問があると思いますので、そのへんをしっかりとってください。

○議長（大久保建一君） 答弁はいいですか。

○議員（黒島竹満君） あれば。

○議長（大久保建一君） 答弁があれば。

○建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。

○議長（大久保建一君） 建設課長。

○建設課長（藤田好彦君） 先ほどと同じになりますけれども、適切に見積りをいただいて設計価格をはじいておりますので、町としては適切な設計価格になってるというふうに思っております。

○議長（大久保建一君） ほか。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（大久保建一君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 理解できなくてごめんなさい、教えてほしいんですけど。

道外で鉄骨が用意できるから価格が設計価格と近くなるというお話だったんですけど、入札には道外のかたも入るとい判断でいいですか。それとも、鉄骨の用意だけは道外で、入札は道内で行うということになるのでしょうか。

○建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。

○議長（大久保建一君） 建設課長。

○建設課長（藤田好彦君） 今のご質問ですけれども、入札の参加業者に関しては、道内に本支店をおいているということで、本州の業者が道内に支店等を構えていれば、参入ができるというふうな今の仕組みになっております。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（大久保建一君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 鉄骨はすごい重たいので、道外で安くても運搬料とか含めてもそれでも合うっていう感じですか。

○建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。

○議長（大久保建一君） 建設課長。

○建設課長（藤田好彦君） 今の鉄骨の関係なんですけれども、加工費、施工費、運賃その辺も込みで積算いたしております。それで、前回の設計価格にいくらか上乘せするような程度で収まるという、あくまでも設計価格というふうになっております。

○議員（赤井睦美君） ありがとうございます。

- 議長（大久保建一君） ほか。
- 議員（倉地清子君） はい。
- 議長（大久保建一君） 倉地議員。
- 議員（倉地清子君） 幾分を上乗せっていう、その幾分っていうのはどのぐらいなんでしょうか。
- 建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。
- 議長（大久保建一君） 建設課長。
- 建設課長（藤田好彦君） 今、今後入札を考えておりまして、プラスいくらというかたちでは、はっきり言えないんですけども、現行の新庁舎建設の予算内で収まるような金額になっているというふうなかたちでしかお答えできません。
- 議員（倉地清子君） はい。
- 議長（大久保建一君） 倉地議員。
- 議員（倉地清子君） わかりました。

これは町民がずっと関心持ちだったんですけど、私たちも議会で決めたことなので、これは進めていかなきゃならないことだなとは思ってたので、それはよかったなと思っています。

それで、この価格でいくとして入札が終わりましたと。その途中でどこかでまた、要するに物価が高騰したからとかって言って停止するということにはならないですよ。

- 建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。
- 議長（大久保建一君） 建設課長。
- 建設課長（藤田好彦君） あくまでも入札ということで、先ほどの中でもお話があったんですけども、業者がうちの提示する工事価格だとか条件、工期だとか。あと業者さんのほうでいくと、下請けさんの手配だとか資材の調達が可能なのかどうかということで、入札に参加しないということも想定されるんですけども、その辺は広告をしてみないと、私どもが今できる（聞き取り不能）というのは出来兼ねるというふうなかたちになっております。

- 議長（大久保建一君） よろしいですか。
- 議員（倉地清子君） はい。難しい質問でしたね。
- 議長（大久保建一君） ほか。
- 議員（関口正博君） はい。
- 議長（大久保建一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） 皆さんもご承知のとおりかと思えますけども、マスコミ報道によって2、3週間前に赤井川村の庁舎建設の件が載っていたんですが、新聞報道によりますと来年度着工1年工期で大体30%値上げが見込まれるということで、赤井川村が中止になったんですね。

今のやり取りを聞いてて思うんですけども、決して積算価格を町が出したものに対して疑義をもっているわけではないんですよ。僕もいろいろ業者のほうにもお伺いしておりましたが、来年の物価上昇率だとか人件費の上昇率を考えたときには10%、15%ずつ、要は両方合わせれば20%から30%の積算というのは当然のことなら民間ではありえることであろうと。

この工事は2年にわたる工事ですから、2年後にどういう物価上昇率になっているのか、その当時の実績がどうなっているのかというのは、見込んだ場合には、当然業者としては高い金額を出さざるを得ないというのは、こういう事情もあると思うんですよ。

役所のルールに乗せるのではなくて、そういうものを鑑みただ中で価格というものは弾き出していないと、折り合いつかないような気がするんですよ。こうしてる間に、どんどんいろんなものが上がってるんですから、そこら辺をちょっと考えていただきたい。

決して積算がおかしいだとかっていうことは、僕自身は全く思っていないですし、それはいろんな地域の今の入札が不調になっているという状況をみたときには、しょうがないことなのかな。それで、民間業者も当然安全に入札を行いたいという部分があるでしょうから、その部分っていうのをなんとなく僕は考えてあげなきゃいけないのかなっていうのはあるんですが、どうでしょうか。

今のやり取りを聞いていると、僕らは間違っていないよ。探せばこういうものもあるんだよと。でも、赤井さんが言ったように、結構残痕で運輸業界の高騰というのも当然物価上昇率には入って来ますから。

ですから、どうか折り合えるところをちゃんと見つけていただきたいなというふうには思うんですけど、どうでしょうか。

○建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。

○議長（大久保健一君） 建設課長。

○建設課長（藤田好彦君） 今の物価の高騰という関係なんですけれども、今の工事の中では、発注してから物価が高騰しましたというふうになると、スライド条項っていうのがございまして、物価のスライドである程度の基準になって、物価が、お金が、工事費が上がりましたということになれば、適切に発注者のほうではその辺を考慮して、設計変更で対応しなさいというふうになっているものですから、発注後の物価の上昇に関しては対応できるのかなというふうに考えております。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保健一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） 工期を伸ばしていくであるとか、今回もし不調に終わった場合のリスクというのは相当高いと思うんですよ。これがまた半年延びますよ、1年延びますよとなった場合は、さらにプラスになってしまう。

ということは、やっぱり避けていかなければならないことであるのかな。今の庁舎の状況とか考えたときに、この後の町のいろいろな計画を見たときに庁舎建設が大規模事業ですから、しっかりと今までも合意形成がかかってここまで来ていますので、金額に対してもある程度折り合える部分というのを早めに出して、早く入札を行っていただく。

その結果がどうなるかというのは、ちょっと分からないんですけど、金額のはじき方もそういうものに、私が言った部分が考慮された中で行われてほしいなというのが僕の願いなんですけれども、ただ僕自身の個人的な意見でしかないんですけど、本当に皆さんの意見を聞いて、自治体のルールに乗せるんじゃなくて、しっかりと民間のそういう状況というものを見た中でとか、改めて金額をはじき出していきたいなと思います。これは、僕からの要望になりますけどお願いいたします。

○議長（大久保健一君） 答弁はいいですか。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保健一君） ほか。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（大久保健一君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） 行政はいろんな予算を作っていく中で、根拠のある予算付けっていうのが議会では絶えずそれを検証しながらやっていく。今回入札が不調に終わったということで、自分たちの予算の出し方を疑い、そして、時間をかけて検証した結果、私たちの予算の出し方に問題がなかったという報告だと思います。

僕はそれならば、今答弁があったように、広告をしてみないと分からないとおっしゃったように、自信を持って出された予算であれば、僕らはそれを見守って広告でどういう結果になるのかなっていう。それ以上は想像の話になってしまいますから、僕はなるほどなと思って聞いていました。

○議長（大久保建一君） 答弁はいいですか。

○議員（三澤公雄君） いいです。

○議長（大久保建一君） いいですか。ほか。

（「なし」という声あり）

○議長（大久保建一君） なければ、3番も報告済みといたします。報告事項は以上で終わります。

#### 【建設課職員退室】

#### 【新庁舎建設推進室職員退室】

#### ◎ その他

○議長（大久保建一君） 次に、大項目の4番その他を持ち合わせの方は。

○議会事務局長（野口義人君） はい。

○議長（大久保建一君） 事務局お願いいたします。

○議会事務局長（野口義人君） すみません。事務局のほうから3点ほど報告ございます。まず一点目が、以前からの議運のほうの申し合わせ事項によりまして、今回4人以上でメンバーを構成した会派から議運へ2人まで出せるというルールを今回も適用させていただきまして、前回の議会運営委員会の中で話をもんだところでございます。

その結果、今回4人会派ということで、和醸良政会と春夏秋冬が当てはまることから前回の議運の中で、その会派のほうに最大限2人まで出せるよということが確認されたところでございます。

その後、2つの会派のほうから議運へのメンバー選出ということで、和醸良政会のほうから黒島議員、春夏秋冬のほうから倉地議員の届出がございましたので、先般の臨時会のほうでは4人で構成しておりましたが2人加えて、最終的に定数6人に合った6人で構成されたということで、閉会中の内容であったことですから、議長のほうで許可を出して運用したいということになりましたので、まず報告いたします。

○議長（大久保建一君） 議運のことについては、何かございますか。よろしいですか。

（「はい」という声あり）

○議会事務局長（野口義人君） 2つ目は、今回の定例会から一般質問者が質問席に移動した際に、答弁書を質問ごとに質問席に配布することになりました。それで、これも議運の中で話題が出て、町側に要望するという事になって、先般、総務課長のほうに一応打診した中で協議を行って、最終的に答弁の正確性を高める観点からこのスタイルを進めることになりました。

ただし、一問一答形式なので2問質問した方については、1問目の質問の前に第一項目の答弁書を配って、また2項目目の質問に入る前に2項目目の答弁書を配るとい、ちょっと細かな動作作業になるということをご理解いただきたいと思います。

まずは、こちらで試験的に導入をしてみて、また将来的に見直す点とか行政側との協議も必要になってきますので、こういうかたちで導入したいというところでございます。以上です。

○議長（大久保健一君） 質問者にしか来ないんだよね。

○議会事務局長（野口義人君） 本人だけということ。

○議長（大久保健一君） ほかの議員には来ないかたちになりますよね。

○議会事務局長（野口義人君） そこで、例えば、数値とか金額とか%とかそういう数字が出てますので、そういうのを間違えないように再質問にあたっては、そこを見ながら再質問のほうを考えていただきたいなと思います。

○議長（大久保健一君） よろしいですか、このことについて。こちらから要望したことに答えてくれたということなので。

○議員（倉地清子君） はい、助かります。

○議長（大久保健一君） 次、3番目お願いします。

○議会事務局長（野口義人君） 私のほうから最後になりますけど、今度の日曜日のシルバープラザのほうで、一日健康のつどいが10時から正午までの2時間の時間で開催されることになりました。

それで、今までの議会のほうでは参加していなかったんですけど、その会場の一角ブースを議会としてお借りした中で、議会カフェ、ブレイクタイムを開催したいということになりました。

担当課のほうにももう調整済みで、場所もシルバープラザの大きいホールのステージ向かって右側の前方の一角の部分で議側のほうで使用してもいいよという了解をとったので、ホットココアの提供と番茶を提供した中で一般町民への会話を進める中で、いろんな話題を聞き取っていただきたいという狙いでございます。

今までは20歳の集いで、成人者と保護者の関係。あと、木育で子どもたちの意見等を聞き取りしておりましたので、高齢者のそういう組み取る機会がなかったものですから新たに加えて、今回から取り組むということになりました。

アンケートに近いような用紙も一応用意していますので、皆さん協力できる範囲で当日参加していただきたいなと思っております。

○議長（大久保健一君） この担当というのはどこか作る感じだっけ。

○議会事務局長（野口義人君） 担当というのは、議会カフェの。私の記憶では、広報公聴が中心的位置づけで動いていただけのかなと思っております。

○議長（大久保健一君） 広報公聴の委員長、大丈夫でしょうか。

○議員（三澤公雄君） 議運で取り進めると聞いていましたけど、引き続き議会カフェですので、公聴でも関わっていきたいと思います。

○議長（大久保健一君） 委員長のほうで服装だとか、持ってきてほしいものだとか特にない。

○議員（三澤公雄君） ないです。積極的に町民と接触する心意気を皆さん持っていただければ。

○議長（大久保健一君） 服装はラフな格好。

○議員（三澤公雄君） ラフですね。ネクタイ締めると近寄りやすいイメージがもたれるのかなと思うので、各々カジュアルな格好で。

前回と引き続き、ココアは私のほうで用意しますし、黒板も持って行きます。

○議員（倉地清子君） 番茶って。

○議員（三澤公雄君） 議会の番茶ってこと。

○議会事務局長（野口義人君） 番茶は当初、保健福祉課でこのブースを使って番茶を提供したいという狙いだったんですけど、議会がいきなり入ってきたんで場所がなくて、保険福祉課のほうでその場所をお貸ししますんで、番茶も用意してあったんで、それを使ってくださいという趣旨だったと思います。

紙コップ等も議員会で用意したんですけども保健福祉課でもあるので、今回は保険福祉課の消耗品を使わせていただいて、今回買った分は、二十歳のつどいのほうで活用させていただこうと思います。

○議長（大久保健一君） 10時からということは、何時まで集まるとかそういうのはあるんですか。

○議員（三澤公雄君） 健康のつどい自体は2時からじゃないの。違ったっけ。

○議員（赤井睦美君） 違う違う、それは講演会。

○議員（三澤公雄君） これは講演会か。

○議員（赤井睦美君） 10時から12時までで、9時半に集まれば間に合うと思います。

○議長（大久保健一君） 9時半集合でいいですか。

（「はい」という声あり）

○議員（赤井睦美君） もう一点いいでしょうか。シルバープラザからのご要望で、インフルがすごく流行ってるらしいんです。それで、手指消毒の液を自分で用意してほしいということと、マスクを着用してほしいということでした。

○議員（倉地清子君） そうだね。

○議長（大久保健一君） 消毒は。

○議員（赤井睦美君） ありますか。

○議員（倉地清子君） 消毒ありますよ、自宅に、違うか。

○議員（赤井睦美君） 事務局のありますか。

○議会事務局長（野口義人君） ありますよ。

○議員（赤井睦美君） じゃあそれを借りてって。

○議会事務局長（野口義人君） 廊下に置いてるのを日曜日なんで、持って行っていいです。

○議員（赤井睦美君） それを借りてって。

○議員（倉地清子君） 自分で持って行けばいいんだ。

○議長（大久保健一君） あと、じゃあ各自マスクをすとかなんとか考えてください。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保健一君） 事務局からは以上で。ほか、その他持ち合わせの方。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保健一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） その他というよりは、先ほどの庁舎の議論なんですけれども、これはある程度今の段階で議会としてね、共通認識を持っていた方がいい。これは、やっぱり注目している方が多いんですよ。

それで、金額的に相当開きがあるっていうことも新聞報道等で分かっているということで。ただ、先ほどの町の姿勢っていうのは、これはあんまりきつとね、金額的な上積みというものは多少は見るにしても、きつと見てこないだろうというような感じは受けますよね。

僕はそのやり取りを聞いていて、これはきつとまた無理だなというふうな感覚を受けたんだけど、皆さんお一人一人この庁舎はいろいろなことで、きつと情報は収集しているんだろうというもとに僕はお話しますが、本当にいろんなものが高騰っていうのはすごく大きくてね。僕もさっき言いましたけれども、人件費から資材高騰からという部分っていうのは、やっぱりこの2年にわたる工期という部分においては、相当見えない部分があるから当然安全マージンとりますよと。

それで、庁舎そのものがあいう格好なもので、じゃあ屋根もげばいいじゃねえかよっていう声も多くあるもんだから。だけど、それにつれて議員が振り回されちゃどうしようもないことであって、現時点の状況というものは、一人一人ちゃんと把握していたほうが僕は良くて、ちゃんと金額が発表になって、これが不落、また不調になってしまって、そのものを白紙にしなきゃならないとか工期を伸ばさなきゃならないってなった時には、また億単位の金額がきつと上積みになっていくんじゃないのかなということも危惧されるんですよ。

慎重な議会としても認識を持つということと、慎重な言動っていうことと持ち合わせた方がいいのかなって、僕自身は思うんだけどどうでしょうかね。

どうしてもね、議員ばかりだから言うけれども、この議会の中にはどうしても建築主体に入っている方がおられるんで、そこに配慮するとかではなくて、しっかりと現状認識は議員それぞれ僕は持った方がいいというふうに思うんですよ。どうでしょう。

今の状況をちゃんと議員一人一人が把握するっていうことは、僕はすごく大事じゃないのかなって思うんです。

（「異議なし」という声あり）

○議長（大久保建一君） まあ、皆さんそれぞれ現状をきっちり把握してくださいというアドバイスっていうか提言みたいな感じで受け取ればいいのか、その発言は。

○議員（関口正博君） 僕はね、先ほど言ったことが僕の今持ち合わせてる情報のすべてです。いろんな業者、土木業者から建築業者から、函館の業者からいろいろ僕が知ってる限りで聞いてみたけど、やはり町の出す積算だから別に問題はない、その時点のものだから。

ただ、これからの物価上昇率だとか人件費の上昇率っていうのは、これは民間としては、町よりも相当シビアに見ているということは間違いないし。だとすれば、2年後のさまざまなことを考えたときには、この30%っていうのは、当初今30%なんてものは出てこなかったけど、噂であれば、10億程度足りないんじゃないかという噂。これは、だいたい30%になるんだけど。

そうすれば、先ほどの町の答弁からいったら、きつとそういう数字をはじき出してこないだろうなというふうには思ったんで、もちろんそこで折り合えるというふうに入札参加者が判断すれば行けるんでしょうけれども、先ほどのおそらくあれであれば、そんなに上積みがないかたちの中で広告を出すんじゃないのかなというふうに思ったもんだから、それはそれでしょうがないんだけど、

町が実際の判断するんだからね。ただ、伸びることのリスクのほうが本当に大きいのかなっていう気はしますけどね。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（大久保健一君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） そういう意味での議員個々の認識を、例えばこういったせっかく集まった場だからそれぞれ述べ合う。14人いるんだから14通り以上のもの見方。例えば、関口さんがおっしゃった部分と、僕なんかは前回の不調の部分では、そもそも単価の積算の見積りに疑いもあった部分もあったと思うんですよね。町の見積りが何か間違っていて、業者の言い分と差があったんじゃないか。

それで今回見直した結果、鉄骨をこういうところから仕入れれば僕たちの単価設定には間違いがなかったんで、あと若干の余裕っていうのは、担当の人とお話したときには、当初用意した予算から見たらまだ9千万ぐらいだから、全然ゼロが1つ違うんだけどね。9千万ぐらい予算に余裕があるので、そういう意味での幅なんだなという答弁だと、僕は理解したんでね。

だから、今回の僕の今日の説明で理解した部分では、今回の積算に間違いがないっていう自信をもって再度広告する。前回の不調では、僕たちが町側の積算の仕方に疑いを持ってた部分が今回それが晴れた上での広告になるんで、結果の受け止め方ってまた違うと思うんですよね。

それでも、不調に終わった場合どうするかとか、そういったことも含めての立ち位置をちゃんと各の述べた上でのせっかく集まったんだから、そういった意味での議会の議論っていうのは大事だと思うんですけど、1つの答えに向かっていくっていうのはまた違うのかなと思って、関口さんの話を聞いてました。

いろんな見方が立ち位置によって、違うのかなと思ったので。僕の今の受け止め方としては、先ほど述べたとおり、町の積算に疑いを持たないで、じゃあ業者はこの金額に対して改めて、要するに町がここから道外のどこかは知らないんですけども入れれば、町の鉄骨の部分に関してはできるんじゃないですかということ広告をするっていうことですからね。

じゃあ、それを聞いてみましょう、見てみましょうっていうのは、1つのやり方ではないのかなと思って受け止めてます。

○議員（関口正博君） いや、だから、あ、ごめんなさいね。

○議員（三澤公雄君） いいですよ。

○議長（大久保健一君） どうぞ。

○議員（関口正博君） 赤井川村の事例を出したけど。要はさ、あそこだって今度中身を精査すれば、そういうことできたんだろうかということにもなっていくのかなって気はするよね。

だから、100%それを受け止めていいのかっていうのもちょっとあるんだけど、逆に黒島議員に聞きたいけど、こういう鉄骨を調達するにあたって、当然それぞれの業者のひいきの間屋なり何なりというのは当然あるわけで、そこを広げて僕らのルールからいったら当然新規で取引する場合というのは、単価なんていうのは当然変わってくるような気もするし、それが言うようにちゃんとその値段で入ってくるのかということも、すごくどうなるのかなって気がするんだけど、どういうものなんでしょうか。この鉄骨業界というのは、俺よくわかんないですけど。

○議長（大久保健一君） ちょっとフリートークにする。

○議員（関口正博君） うん。

○議員（黒島竹満君） その部分については、入札する前に見積りをとるから、結局今設計屋なのか役場なのか分かんないけれども、道外業者から見積りとってるということで、業者も入札に参加したときには見積りをとるから、そのときに町の予算と合えば落とせるし、合わなかったら落とせないし。

ただ、今の話から言うと、あれだけの金額の違いがあるのにだいたい予定の価格にいつてるって言ったから、それはちょっとおかしいんでねえのって。なんぼ道外業者であろうとも、そこまでは落とせないはずだと思うよ。

○議員（関口正博君） だから、これだけの長い前回の入札から1ヶ月以上経ってんのかな。それで、その間に町がやってきたことっていうのは、自分たちの仕事の間違いないかだけの確認だけだったのかなという。

○議員（黒島竹満君） いや、間違いあるかないかって、間違ってるって。間違いなく間違ってるって。

○議員（関口正博君） それで町側は間違っただけでねえどっていう答弁だけだったから、おいおい、なんも進んでないじゃねえかっていう。

○議員（黒島竹満君） 最初から間違ってるから。重量でもさ、価格でも間違ってる。だから、それがよその業者から見積りとったからって、多少近くなっているかもわからないけども、その開きのある部分まで100%なんて詰まんないと思いますよ。

○議員（三澤公雄君） ちょっと素人で申し訳ない。今、建築に詳しい黒島さんがおっしゃったら、設計っていうのは、こういう立て方をするから部材がこういう量必要だっていうことが設計で出てくるんだよね。

なので、今量も違うっていう話だったけど、そういった使われる量も含めて見直した結果、大丈夫だって言ったんですよね。それで、一回目の不調の時に今黒島さんがおっしゃったみたいな量も含めて違うんじゃないかっていう疑いが持ったんだけど、今回それはないということで改めて言うんだから、僕らは町の言ったことを信じるしかないのかなと思うんです。

だから、その奥にはね、今回不調に終わったら、ひょっとしたらですよ。この設計は見直そうという腹を赤井川さんみたいに一回立ち止まろうっていうことを腹に持った上での、でも不調に終わった原因を突き詰めないと、はっきりそれが言えないから、まず自分たちにミスはなかったっていう根拠を明確にして広告した。

だから、その次のことも、今関口さんがね、将来のことを考えなきゃいけないんじゃないかっておっしゃった流れで考えると、向こうは向こうで、これが不調に終わったことも考えた上での提案かなっていうのが、今議論を聞いてて思いました。

○議員（黒島竹満君） ただね、物価の上昇率というのは、工事発注してから役場も言ったとおり、その段階で出てくるんだよ。きちっとしたかたちの中で、上昇率何%上がったよっていうことであれば、その分はちゃんと設計変更なり何かでちゃんと対応するはずだ。2年間なら2年間の中で。

だから、今のかたちからいくと、さっき言った鉄骨が自分たちで積算した価格と近いところまでいつてるって言うから、それは今度出てくればわかると思うよ。今度どういうふうに出てくるか、そこままだ資料も何もねえからしゃべれないけど。

○議員（三澤公雄君） 将来の値上がり分に関しては、対応するって。要するにはっきり物価上昇率何%って出てきたら、そのなんか計算式があるんでしょ。

○議長（大久保健一君） 議事を戻しますよ。

それでは、関口君が言っているのは注意喚起だと思うので、ここで意見をまとめて議会が何かを申し入れるということは、もう報告済みとしてしまったんで、それはないと思いますから、まずこれはもう町民の関心事であると思いますので、それぞれの議員が調べるなりなんなり関心を持った上で、成り行きを見守って、もしうまくいったならうまくいったで良いだろうし、もしうまくいかないんだったら、うまくいかないりのことをちゃんと想定した上できちんと調べていかなければならないと思います。そのようなかたちでよろしいですか。

（「はい」という声あり）

○議員（赤井睦美君） はい。お願い。

○議長（大久保健一君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 総務委員会でやっぱりちょっと深掘りしてほしいかなと思います。個人個人で調査しましょうもいいんだけど、総務委員会でちゃんと聞くところは聞きながら、発表を待ってるんじゃないかと、聞くところを聞きながら、ちくちくやっていったほうがいいんじゃないかなと思うんですけど、特別委員会とかじゃなくて。

○議長（大久保健一君） 日程的にそういうふうになれるか。

○議会事務局長（野口義人君） なれないと思います。この件は、特別委員会を作っている程度の議会のほうで報告書も作った中で、今は経過を踏まえて動いてきているので、皆さんにおろしているのは、全協というかたちなのでも委員会のレベルではなくて、全協の中で何かあれば一括報告していただくという流れになろうかなと思います。

○議長（大久保健一君） たぶん次の広告には、総務委員会がどうのこうのということは間に合わないと思うさ。

○議員（関口正博君） 年内にまた行うっていうことだもんね。

○議員（三澤公雄君） 年内だっけ。年度中って言わなかった。だからちょっと幅が広いなと思って。

○議員（関口正博君） 年度内か。

○議員（黒島竹満君） それにしても報告が出てくるでしょ。そういう予算がある程度決まった段階で。

○議員（三澤公雄君） 広告する前にはね、僕らのほうにって。

○議員（黒島竹満君） そのときにどの程度の資料が出てくるのか、それに対してきちんと話ししていけばいい話だし。

○議員（赤井睦美君） 年度内に契約しないと、補助金ってもらえなくなっちゃうじゃないですか。

○議員（黒島竹満君） 3月31日までにね。

○議員（赤井睦美君） そうそうそう。契約しないと。だから、本当に急がないと。

○議員（黒島竹満君） いや、大丈夫でねえの。

○議員（牧野 仁君） その前に入札。

○議員（関口正博君） それで、それを落とせなかった時のリスクというものもちゃんと分かってなきゃなんないよね。

○議長（大久保建一君） 場合によって、出てきた資料によってだとか協議の余地があるのであれば、総務委員会が取り組んでいくということもあり得るかも知れないですけど、今の段階で総務委員会がそれに取り扱うということには、ちょっとまだ決めれないと思います。よろしいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） では、この話題は以上で。その他。

なければ、第15回全員協議会を閉会いたします。お疲れさまでした。

[閉会 午前 10時57分]